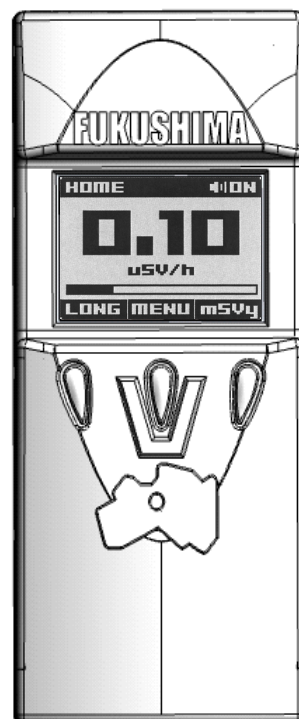


# ガイガーFUKUSHIMA LCDタイプ

## 取扱説明書

( Ver. 1.2 )



お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前やご使用中は本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。




### も く じ

安全上のご注意	1 ~ 2
その他の注意事項	3
製品の特長	4
本体付属品	4
各部の名称と機能	5 ~ 6
ご使用前の確認	7
使いかた	8
主な機能	9 ~ 10
各種設定	10 ~ 12
故障かな?と思ったら	13
製品仕様	14
お問い合わせ	14
保証書	15






## ⚠ 安全上のご注意

- ・ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。
- ・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。
- ・お読みになった後は大切に保管してください。









次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合「軽傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される」内容です。




次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実施していただくこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけない事を示す記号です。






## ⚠ 危険

<p> <b>火のそばまたは炎天下など高温になる場所での使用、保管、放置をしないでください</b></p> <p>禁止</p> <p>・火災、やけど、けがの原因になります。</p>	<p> <b>分解・改造をしないでください</b></p> <p>分解禁止</p> <p></p> <p>・内部には高電圧回路があるため、触れると大変危険です。</p> <p>・火災、感電、やけど、けがの原因になります。</p>
<p> <b>電子レンジなどの加熱用機器や高圧容器に入れないでください</b></p> <p>禁止</p> <p>・火災、感電、やけど、けがの原因になります。</p>	<p> <b>本体を濡らしたり、水がかかる場所や浴槽では使用しないでください</b></p> <p>水濡れ禁止</p> <p>・火災、感電、やけど、けがの原因になります。</p>
<p> <b>火の中に投入したり加熱したりしないでください</b></p> <p>禁止</p> <p>・火災、感電、やけど、けがの原因になります。</p>	<p> <b>濡れた手で直接触れたり使用したりしないでください</b></p> <p>濡れ手禁止</p> <p>・火災、感電、やけど、けがの原因になります。</p>
<p> <b>導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を接続端子に接触させたり内部に入れたりして、接続端子をショートさせないでください</b></p> <p>禁止</p> <p>・破裂、発火、火災、発熱、感電、やけど、けがの原因になります。</p>	

## ⚠ 警告

<p> <b>子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてくださいまた、使用中においても、指示通りに使用しているかをご確認ください</b></p> <p>指示</p> <p>・けがなどの原因になります。</p>	
<p> <b>電池カバーを取り外したまま使用しないでください</b></p> <p>禁止</p> <p>・感電、やけど、けがの原因になります。</p>	<p> <b>強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください</b></p> <p>禁止</p> <p>・火災、感電、やけど、けがの原因になります。</p>

## ⚠ 注意

<p> <b>必ずビニール袋に入れて使用または保管してください</b></p> <p>指示</p> <p></p> <p>・測定器にゴミやほこりが付着すると正しく検出されなくなってしまう。</p> <p>・袋に穴が開いたり汚れた場合は、新しいものと交換してください。</p> <p>・定期的に新しい袋に交換することをおすすめします。</p>	<p> <b>お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください</b></p> <p>指示</p> <p>・乾いた布などで強く擦ると傷がつく場合があります。</p> <p>・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因になりますので使用しないでください。</p>
<p> <b>ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください</b></p> <p>禁止</p> <p>・落下して、けがの原因になります。</p>	<p> <b>ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください</b></p> <p>指示</p> <p>・視力低下の原因になります。</p>

## その他の注意事項

- ・仕様や本取扱説明書は、内容を予告なく変更する事がございますのでご了承ください。
- ・本取扱説明書に記載してある画面表示などのイラストはすべてイメージです。
- ・ガイガーFUKUSHIMA(以下、本機)はあくまで個人のお客様が目安としてお使いいただくために開発した製品です。公的な測定にはご使用になれませんのでご注意ください。また、測定結果はお客様ご自身で判断していただきますようお願いいたします。
- ・株式会社三和製作所(以下、弊社)では、本機の測定値が安全であるかの評価は行なっておりません。また、他社製測定器と本機の測定結果を比べて相違がありましても、測定できる放射線の種類、センサーの形式・種類の違いで測定結果が全く違うものになる可能性は十分に考えられます。
- ・高線量域で本機を使用し、体調が悪くなった場合でも弊社並びに販売元(特定非営利活動法人 営業支援隊に限る)では責任の範囲外になります。
- ・使用した電池、またはバックライトやアラーム音の設定などで電池の使用可能時間は異なります。
- ・積算線量のデータを復元する事はできませんので、電池の残量や取り扱いには十分ご注意ください。
- ・処分方法につきましては、お住まいの自治体の指示に従ってください。
- ・長時間 ご使用にならない場合は電池を外してください。電池の液漏れが発生し、故障の原因になってしまいます。
- ・内部には壊れやすいガラス製の部品が入っております。落としたり、ぶついたりなど、衝撃を加えないようにご使用ください。
- ・ステッカー、セキュリティシールははがさないでください。はがした場合、保証の対象外になり、修理が承れなくなる場合がございますのでご注意ください。

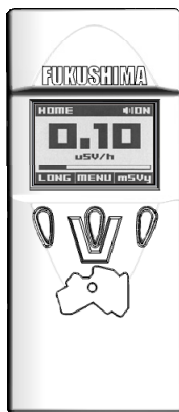
## 製品の特長

本製品は、空間放射線量を測定するためのガイガーミュラー管式放射線量測定器です。

- ・ 測定単位表示切り替えができます ( $\mu\text{Sv/h}$ 、 $\text{mSv/y}$ 、 $\text{CPM}$ )
- ・ 年間の予測被曝線量の見積もりを表示します
- ・ 積算線量を表示します ( $\mu\text{Sv}$ 、 $\text{mSv}$ )
- ・ 10分間測定モード
- ・ パワーセーブ機能
- ・ 暗い場所や夜間に便利なバックライト
- ・ アラーム設定
- ・ 測定レンジ:  $0.04 \mu\text{Sv/h} \sim 443 \mu\text{Sv/h}$
- ・ 測定方法: 16カウント測定、移動平均
- ・ 連続使用時間: 単4形乾電池2本で約500時間

## 本体付属品

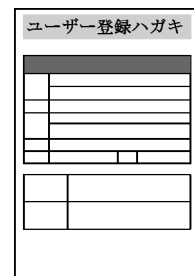
- ① ガイガーFUKUSHIMA  
LCDタイプ 本体  
(動作確認用電池、ビニール袋含め)



- ② 取扱説明書 本書  
(製品保証書付)

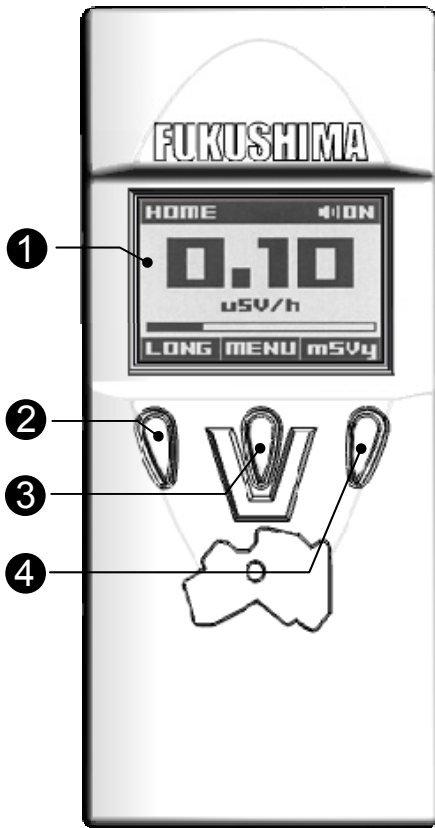


- ③ ユーザー登録ハガキ  
(ご返送用)

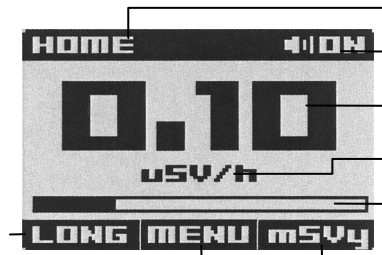


# 各部の名称と機能

## 前面



## ① ディスプレイ (液晶画面)



- ① **モード表示**  
現在のモードを表示します。
- ② **アラーム表示**  
設定中のアラームを表示します。
- ③ **線量**  
測定中の値または測定結果を表示します。

## ④ 単位

上に表示された線量の単位です。単位の内容は次の通りです。

- $\mu\text{Sv/h}$  (マイクロシーベルト/時間) = 1時間あたりの空間線量
- $\text{mSv/y}$  (ミリシーベルト/年間) = 年間の予想被曝線量
- CPM (検知回数/分) = 1分間あたりの放射線の検知数

## ⑤ 計測ゲージ

測定モードにより、計測ゲージの意味合いが変わります。

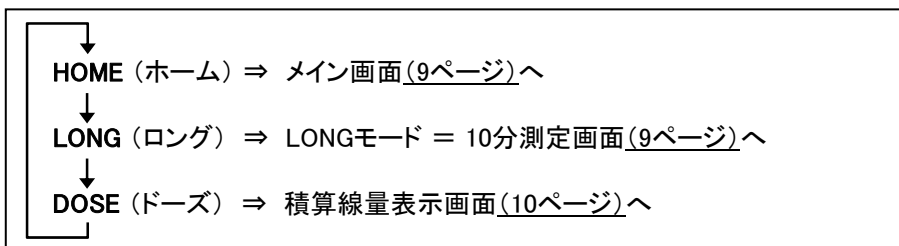
詳しくは9～10ページ『**主な機能**』の『HOME(メイン画面)』または『LONG(10分測定画面)』をご覧ください。

## ⑥ ⑦ ⑧ 各ボタンの機能

⑥は左、⑦は中央、⑧は右のボタンの機能が表示されます。切替内容はそれぞれ **② ③ ④** をご覧ください。

## ② 左ボタン

・下記の矢印の順に表示切り替えができます。また、MENU画面ではBACK(もどる)ボタンになります。

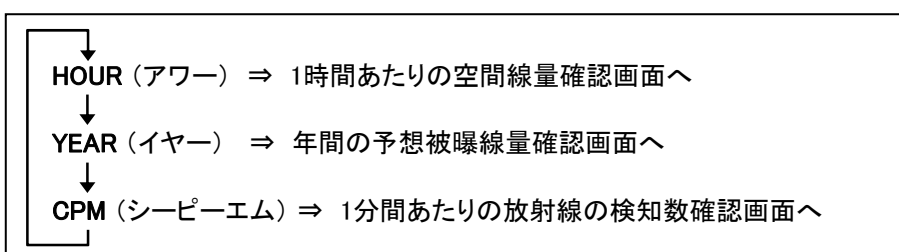


## ③ 中央ボタン

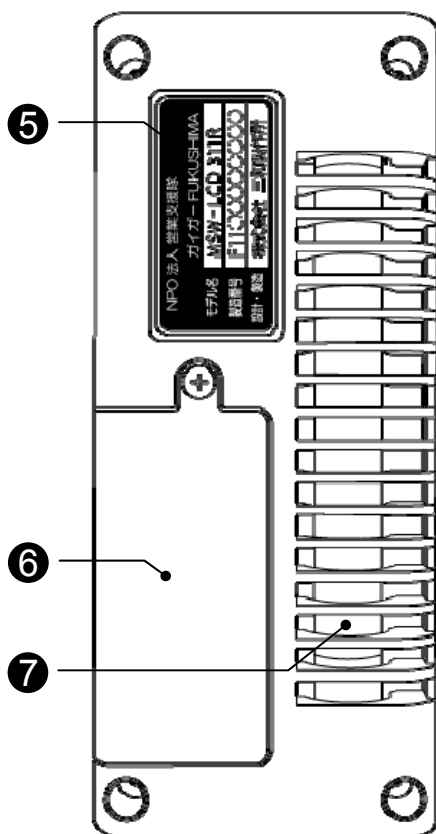
- ・電源の入/切ができます。
- ・MENU画面への切り替えができます。また、MENU画面ではOK(決定)ボタンになります。

## ④ 右ボタン

・下記の矢印の順に表示切り替えができます。また、MENU画面ではNEXT(つぎへ)ボタンになります。



## 後面



### ⑤ ステッカー

・モデル名や製造番号などが記載されています。

※はがしたり紛失した場合、保証の対象外になり、修理が承れなくなる場合がございますのでご注意ください。

### ⑥ 電池カバー

・電池を交換する際、プラスドライバーで開けます。プラスドライバーはNo.1をお使いください。

※合わないドライバーを使用するとねじ山がつぶれてしまう場合があります。

・電池は単4形電池×2本です。(アルカリ電池推奨)

※電池を交換する場合は、電池カバーやねじを紛失しないようご注意ください。

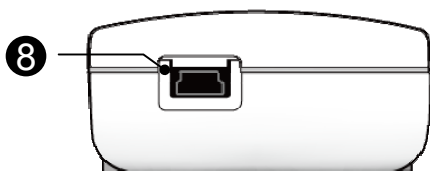
### ⑦ センサー部

・放射線を検知するセンサー(ガイガーミュラー管)です。

・センサー部にほこりやゴミが付着すると正しい測定ができなくなりますので、必ずビニール袋に入れてご使用または保管してください。また、ビニール袋が破れたり汚れた場合は新しいものと交換してください。

※すき間に指やものを入れたり、とがったものをさしたりしないでください。故障、感電またはけがの原因になります。

## 側面



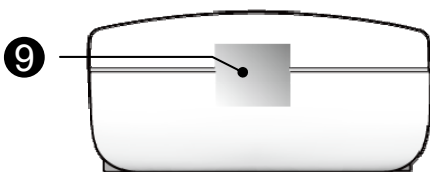
### ⑧ USB - Mini - B 差込口

・USB-Mini-Bタイプのコネクタのケーブルをお使いいただければ、パソコンなどのUSBコネクタからの給電が可能です。

・USBコネクタから給電しながら電池を交換していただければ積算線量のデータが維持できます。

※充電はできませんのでご注意ください。

※ケーブルは本体に付属していません。



### ⑨ セキュリティシール

・本体内部には高電圧回路があり、大変危険なため分解を禁止しています。このシールをはがすと元には戻りません。はがした場合は分解したとみなし保証の対象外になり、修理が承れなくなる場合がございますのでご注意ください。

## ご使用前の確認

・取り扱い説明書(本書)をよくお読みください

・本体はビニール袋に入っていますか？

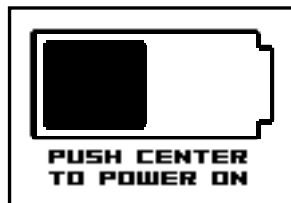
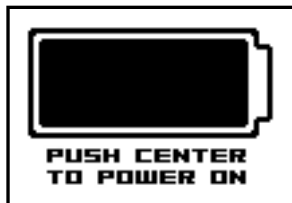
測定器にゴミやほこりが付着すると正しく検出しませんので、必ずビニール袋などに入れてご使用ください。

・電池の残量を確認してください

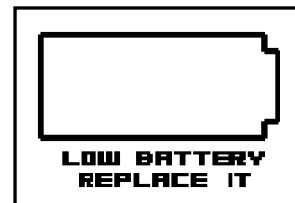
電池の残量をボタンひとつで簡単に確認できます。残量が少ない場合はお早めに電池交換してください。

### 電池残量確認方法

1. 電源がOFFの状態、ボタン(左、中央、右どれでもよい)を1回押すと、電池の残量が下記のように3秒ほど表示されます。



残り半分ほど



電池切れ

### 電池の交換方法

#### － 交換の前にご確認ください －

電池を外すと、DOSE(積算線量)がリセットされます。電池交換後も積算線量のデータを保持したい場合は、お手持ちのパソコンや、携帯電話などの携帯充電器からUSB-Mini-Bコネクタを使用し、給電しながら電池を交換してください。

1. 裏面の電池カバーのネジをプラスドライバー(No.1)で外し、電池カバーを取り外します。
2. 電池を取り外します。
3. 新しい電池をマイナスから挿入します。このとき、電池の向きは合っているか、バネは曲がっていないか、電池はずれなくはまっているかを必ず確認してください。
4. 電池カバーをはめ、プラスドライバー(No.1)でネジをしめます。

※ ドライバーはNo.1をご使用ください。ネジに合わないドライバーを使用すると、ネジ山がつぶれてしまう場合があります。

※ 電池を交換する際に、電池カバーやネジを紛失しないようご注意ください。

※ 電池は単4電池×2本です。(アルカリ電池推奨)




※ 使用した電池、バックライトまたはアラーム音の設定などで電池の使用可能時間は異なります。電池の残量が少なくなってきましたら電池の残量確認画面で確認しながら、お早めにお取り替えください。

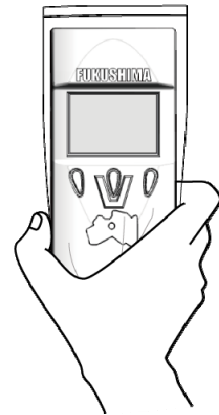
※ 電池カバーを開けたまま使用しないでください。



# 使いかた

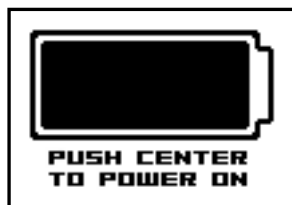
## 1 しっかりと手で持つか、安定した平らな場所に置きます

 <b>注意</b>	 指示 不安定な場所には置かないでください。
	 禁止 必ずビニール袋に入れてご使用または保管してください。

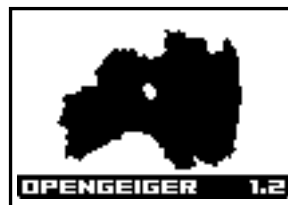
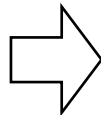


## 2 中央ボタンを2回押し、電源を入れます

- ・電池残量確認画面が表示されたあと、起動画面が表示され電源が入ります。
- ・同時に「ピッ」という音がします。



〈電池残量確認画面〉



〈起動画面〉

※電池残量確認画面については、7ページの『電池残量確認方法』をご覧ください。

## 3 測定します

- ・起動画面が消え、数字が点滅している画面(HOME)が表示されると測定開始になります。



※測定に関する詳細は次ページの『主な機能』をご覧ください。

## 4 中央ボタンを長押しし、電源を切ります

- ・測定が終了しましたら電源を切ります。

# 主な機能

ホーム

## HOME (メイン画面)



### ● 通常の測定モードです

1. 地表または床から1mの高さでの測定が基本です。
  2. 電源を入ると、測定値が点滅します。点滅が止まると、1回目の測定は終了です。  
(1回目の測定中のみ、測定値が点滅します。)
  3. 背面にあるセンサーが放射線を1回検知すると、画面の測定ゲージが左から右へひとつ動きます。センサーが16回放射線を検知しゲージがたまると1回の測定が終了です。
  4. 移動平均を採用し、過去5回までの測定結果を毎回平均して表示しています。5~6回ほど測定して表示された測定値を参考にしてください。  
(低線量域においては0.04  $\mu$  Sv/h(センサーが持っている自己ノイズ)を差し引いた値を参考にしてください。)
- ・測定中に、検知した放射線数に大きな変化が生じた場合、測定値が再び点滅し、再測定となります。

右ボタンで以下のように切り替わります



1時間あたりの空間線量  
(マイクロシーベルト/時間)



年間の予想被曝線量  
(ミリシーベルト/年間)



1分間あたりの放射線の検知数  
(検知回数/分)



ロング

## LONG (10分測定画面)



- 10分間測定し、その間にカウントした放射線量で値を出します
- より正確に測りたいときにお使いください

1. 地表または床から1mの高さでの測定が基本です。
2. LONGモードでは計測ゲージが10分の時間計になります。ゲージがいっぱいになるとLONGモードでの測定は終了です。  
(低線量域においては0.04  $\mu$  Sv/h(センサーが持っている自己ノイズ)を差し引いた値を参考にしてください。)

右ボタンで以下のように切り替わります



1時間あたりの空間線量  
(マイクロシーベルト/時間)



年間の予想被曝線量  
(ミリシーベルト/年間)



1分間あたりの放射線の検知数  
(検知回数/分)



## DOSE ( 積算線量画面 )



- 電源がオンになっている時の積算線量を表示します。
- ・ 積算線量と積算した期間が表示されます。
- ・ パワーセーブモードをオンに設定すると、電池の消費を抑えながら、積算線量を測定できます。
- ・ 積算線量をリセットするには電池を抜き差ししてください。また、電池が切れたり電池を抜き差しするとリセットされてしまいますのでご注意ください。(USB-Mini-Bコネクタから給電しながら電池を交換していただければ積算線量のデータが保持できます。)

## 各種設定

## 1. サウンド設定

- ・ 下記の5種類からアラーム音を設定できます。

OFF	鳴らない
0.3 $\mu$ Sv/h	0.3マイクロシーベルト以上を表示したときに鳴る
0.6 $\mu$ Sv/h	0.6マイクロシーベルト以上を表示したときに鳴る
1.2 $\mu$ Sv/h	1.2 マイクロシーベルト以上を表示したときに鳴る
ALWAYS ON (初期設定)	常時鳴動

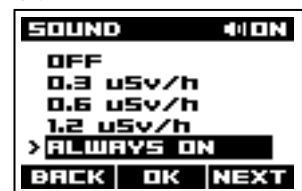
## 設定変更方法

- ① 電源がONの状態ですべてのボタンを押して、図1のMENU画面を表示します。  
画面左側の> (矢印)がSOUNDを指しているのを確認し、中央ボタン(OK)を押すとSOUND画面が表示されます。
- ② 黒く塗りつぶされ、> が指しているところが現在設定中の項目です。図2ではALWAYS ON(常時鳴動)になっています。  
設定を変えるには、右ボタン(NEXT)を押して>を移動します。設定したい項目にあわせ、中央ボタン(OK)を押します。これで設定が変更されます。
- ③ 通常画面に戻る場合は、左ボタン(BACK)を2回押してください。

図 1



図 2



- ※アラーム音の種類や音量は変更できません。
- ※起動時に鳴るアラーム音は、サウンド設定をOFFにしても鳴ります。
- ※アラーム音はセンサーが放射線に反応したときに鳴ります。

## 2. バックライト設定

・下記の3種類からバックライトの設定が行えます。

OFF	点灯しない
10SEC ON (初期設定)	操作がないと10秒間点灯後、自動的に消える
ALWAYS ON	常時点灯

### 設定変更方法

- ① 電源がONの状態では**中央ボタン**を押し、図3のMENU画面を表示します。  
画面左側の> (矢印)が**SOUND**を指しているのを確認し、右ボタン(NEXT)を押し>を移動させます。**BACK LIGHT**にあわせ、中央ボタン(OK)を押すと**BACK LIGHT**画面が表示されます。
- ② 黒く塗りつぶされ、> が指しているところが現在設定中の項目です。図4では**10SEC ON**(10秒間点灯)になっています。  
設定を変えるには、右ボタン(NEXT)を押し>を移動します。設定したい項目にあわせ、中央ボタン(OK)を押します。これで設定が変更されます。
- ③ 通常画面に戻る場合は、左ボタン(BACK)を2回押してください。

図 3



図 4



※バックライトの明るさやコントラストの設定・変更はできません。

※10SEC ONの場合、10秒間ボタンに触れないと消灯しますが、ボタンに触れると再点灯します。設定の変更や画面の切り替えを行う場合は、一度ボタンを押し、ライトを点灯させてからでないとボタンが機能しませんのでご注意ください。(以上は、どのボタンでも有効です。)

## 3. パワーセーブモード

・10分間操作がないと自動的に液晶の表示をオフにするモードです。表示はオフになりますが、測定は継続していますので、『積算線量を測りたいけど、電池の消費を抑えたい』ときに便利です。

### 設定変更方法

- ① 電源がONの状態では**中央ボタン**を押し、図5のMENU画面を表示します。  
画面左側の> (矢印)が**SOUND**を指しているのを確認し、右ボタン(NEXT)を押し>を移動させます。**POWER SAVE**にあわせ、中央ボタン(OK)を押すと**POWER SAVE**画面が表示されます。

図 5



- ② 黒く塗りつぶされ、> が指しているところが現在設定中の項目です。図6ではOFFになっています。

設定を変えるには、右ボタン(NEXT)を押し > を移動します。設定したい項目にあわせ、中央ボタン(OK)を押します。これで設定が変更されます。

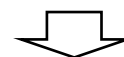


図 6



- ③ 通常画面に戻る場合は、左ボタン(BACK)を2回押してください。

※ONに設定した場合、10分間ボタンに触れないと液晶表示が消えますが、ボタンに触れると再度液晶が表示されます。(以上は、どのボタンでも有効です。)

## 4. フォント設定

・表示される測定値のフォント(字体)を下記の2種類から選べます。

**0.10**  
u5v/h

デフォルト  
DEFAULT  
(初期設定)

**0.10**  
u5v/h

サンセリフ  
SANS SERIF

### 設定変更方法

- ① 電源がONの状態ですべてのボタンを押して、図7のMENU画面を表示します。画面左側の> (矢印)がSOUNDを指しているのを確認し、右ボタン(NEXT)を押し > を移動します。FONTにあわせ、中央ボタン(OK)を押すとFONT画面が表示されます。

図 7



- ② 黒く塗りつぶされ、> が指しているところが現在設定中の項目です。図8だとSANS SERIFになっています。

設定を変えるには、右ボタン(NEXT)を押し > を移動します。設定したい項目にあわせ、中央ボタン(OK)を押します。これで設定が変更されます。

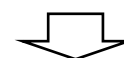


図 8



- ③ 通常画面に戻る場合は、左ボタン(BACK)を2回押してください。

※字の大きさや濃さの調整や測定値以外のフォントの変更はできません。

# 故障かな？と思ったら

## [トラブルシューティング]

症状	チェックする場所	処置または参照先
電源をONにしたが途中で液晶画面の表示が消えてしまう	「BACK LIGHT(バックライト)」設定が <b>10SEC ON</b> (10秒間のみオン)になっていませんか？ 設定を確認してください。	→設定の確認と変更方法は11ページへ
	「POWER SAVE(パワーセーブ)」モードの設定が <b>ON(オン)</b> になっていませんか？ 設定を確認してください。	→設定の確認と変更方法は11～12ページへ
	電池が切れていませんか？ 電池残量を確認してください。	→電池残量の確認方法は7ページへ →電池の交換方法は7ページへ
使用中にまた数値が点滅し始めた	測定中に、検知した放射線数に大きな変化が生じた場合、測定値が再び点滅し、再測定となります。	
電池を交換したら、DOSE(積算線量)がリセットされてしまった	電池を外すと、DOSE(積算線量)がリセットされてしまいますので、電池交換後も積算線量のデータを維持したい場合は、お持ちのパソコンや、携帯電話などの携帯充電器からUSB-Mini-Bコネクタを使用し、給電しながら電池を交換してください。	→電池の交換方法は7ページへ
異常な測定値を表示する	1時間あたりの空間線量( $\mu\text{Sv/h}$ )から、年間の予想被曝線量( $\text{mSv/y}$ )または1分間あたりの放射線の検知数(CPM)に表示画面が切り替わっていませんか？ <u>表示されている単位を確認してください。</u>	右ボタンで下記の順に画面が切り替わります。 ・ $\mu\text{Sv/h}$ = 1時間あたりの空間線量 ・ $\text{mSv/y}$ = 年間の予想被曝線量 ・CPM = 1分間あたりの放射線の検知数
音が出ない	「SOUND(サウンド)」設定が <b>ALWAYS ON(常時鳴動)</b> 以外になっていませんか？ 設定を確認してください。	→設定の確認と変更方法は10ページへ
バックライトがつかない	「BACK LIGHT(バックライト)」設定が <b>OFF(オフ)</b> になっていませんか？ 設定を確認してください。	→設定の確認と変更方法は11ページへ
バックライトがつきっぱなしになっている	「BACK LIGHT(バックライト)」設定が <b>ALWAYS ON(常時点灯)</b> になっていませんか？ 設定を確認してください。	→設定の確認と変更方法は11ページへ
電源を入れたが液晶になにも映らない	電池が切れていませんか？ 電池を交換してください。	→電池の交換方法は7ページへ
落とすなど、強い衝撃を加えてしまった	液晶は映っていますか？ 正しく測定されていますか？	→お問い合わせください (14ページをご覧ください)
上記以外の場合は、14ページの「故障または修理に関するお問い合わせ先」にお問い合わせください		

## 製品仕様

検出器	ガイガーミュラー計数管
測定線種	$\beta$ (ベータ)線
	$\gamma$ (ガンマ)線
測定レンジ (測定範囲)	0.04 $\mu$ Sv/h ~ 443 $\mu$ Sv/h ※検出器の自己バックグラウンドが0.04 $\mu$ Sv/h
表示	$\mu$ Sv/h ・ mSv/y ・ CPM
積算線量表示	999.99mSvまで
測定方法	16カウント測定 移動平均
測定時間	0.1 $\mu$ Sv/h程度の環境下において1分程度
	1 $\mu$ Sv/h程度の環境下において数秒
校正	校正定数による表示補正済 (校正定数:Cs-137にて150CPM/ $\mu$ Sv/h)
測定誤差範囲	日本工業規格(JIS Z4333)範囲内
使用バッテリー	単4形乾電池 × 2本 USB-Mini-B端子より給電可能
連続使用時間	単4形乾電池2本使用で約500時間
本体サイズ	125 × 55 × 25 (mm)
本体重量	100g(電池含め)

## お問い合わせ


### 故障または修理に関するお問い合わせ先

さんわ せいさくしょ  
株式会社 三和製作所(斎藤)


E-mail  
 [inquiry@3wa-corp.jp](mailto:inquiry@3wa-corp.jp)

受付時間:24時間(年中無休)

※休業日や営業時間外の受付分 またはお問い合わせが混み合った時など、ご返答が遅くなる場合がございます。

TEL  
 **0243-48-4222**

受付時間:9:00~12:00・13:00~17:00(土日祝を除く)

FAX  
 **0243-68-2070**

受付時間:24時間(年中無休)

※休業日や営業時間外の受付分 またはFAXが混み合った場合など、ご返答が遅くなる場合がございます。

### 販売に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 営業支援隊

TEL  
 **050-3161-3488**

受付時間:9:00~17:00(土日祝を除く)

- ・番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。
- ・お問い合わせを多数いただいた場合、お電話がつながりにくい場合がございます。ご迷惑をおかけいたします。

## ガイガー-FUKUSHIMA 保証書

モデル名	MSW-LCD 311R	
保証期間	お買い上げ日(商品到着日)より1年間 ※ユーザー登録はがきをご返送いただいたお客様が保証対象です	
お客様の お名前・ ご住所等	ご氏名	
	ご住所	〒 -
	TEL	( )
販売元	<b>特定非営利活動法人 営業支援隊</b> 〒963-0831 福島県郡山市中田町柳橋字久根込103 TEL: 050 ( 3161 ) 3488	
製造元	<b>株式会社 三和製作所</b> 〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山字東78番地 TEL: 0243 ( 48 ) 4222	



### 保証規定

- 製品の取扱説明書に記載の保証規定に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無料にて故障箇所の修理または交換をいたします。(送料はご負担いただくようになります)
- 保証期間内でも下記のような場合には有償修理となります。
  - ・使用上の誤り、または不当な修理や改造、分解
  - ・お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
  - ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害や異常電圧などの外部要因に起因する故障や損傷
  - ・車両や船舶などに搭載された場合に生じる故障や損傷
  - ・電池の液漏れによる故障や損傷
  - ・液晶パネル、バックライトの経年劣化(輝度または色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など)
  - ・センサーの経年劣化
  - ・液晶パネルの損傷、変色、劣化
  - ・弊社指定の消耗品(電池、スイッチ、ボタン、レバー類など)
- 製品に添付しております製品保証書(本紙)は、日本国内においてのみ有効です。
- 本測定器は空気中の放射線の量を測定するものです。本測定器を本来の目的以外に使用したり、ビニール袋などのカバーをせず汚染されたものへ直接接触させたり、水分に触れさせたり、中の回路を濡らした場合の動作保証ならびに製品保証はできません。
- 表示される値は、多少の誤差を生じることがありますので、表示する値は相対的な空間線量の「高い・低い」の目安となります。(誤差はJIS規格内です)